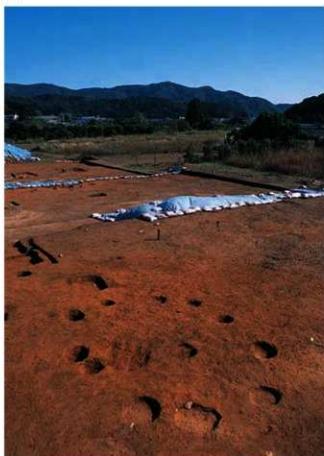




炉穴 (SP2)



炉穴 (SP1)



B区 SA12

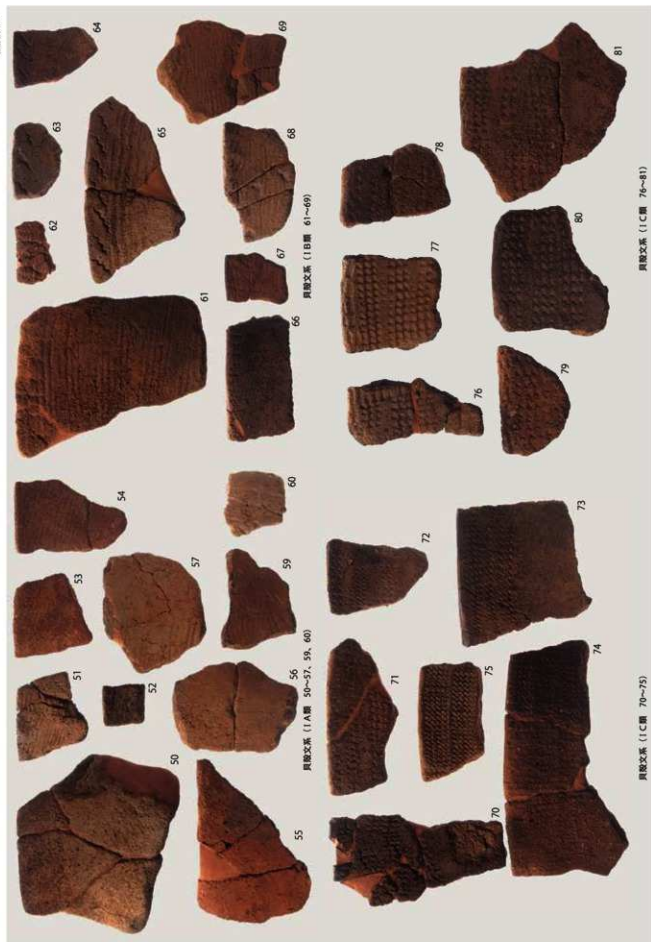
森ノ上遺跡 縄文時代早期 炉穴・その他遺構 (B区SA12 縄文時代後期～弥生時代中期)



石器 (1~25)
森ノ上遺跡 旧石器時代石器



森ノ上遺跡 縄文時代早期土器 (1)



貝殻文系 (18圖 61~69)

貝殻文系 (18圖 50~57, 59, 60)

貝殻文系 (1C圖 76~81)

貝殻文系 (1C圖 70~75)

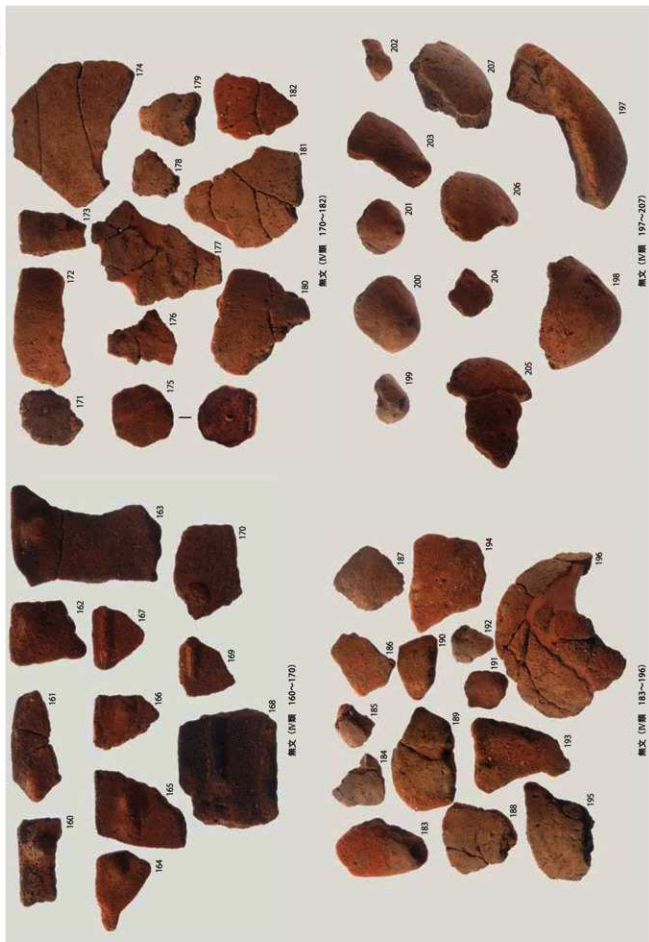
森ノ上遺跡 縄文時代早期土器 (2)



森ノ上遺跡 縄文時代早期土器 (3)



森ノ上遺跡 縄文時代早期土器 (4)



森ノ上遺跡 縄文時代早期土器 (5)



森ノ上遺跡 縄文時代早期土器 (6)・石器 (1)

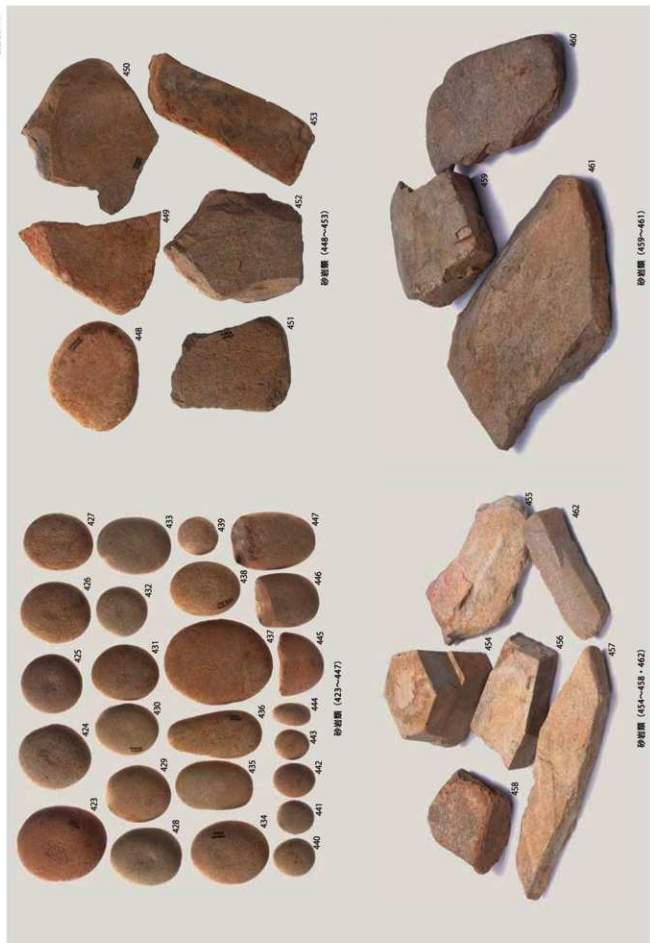


チャート類 (221~313)

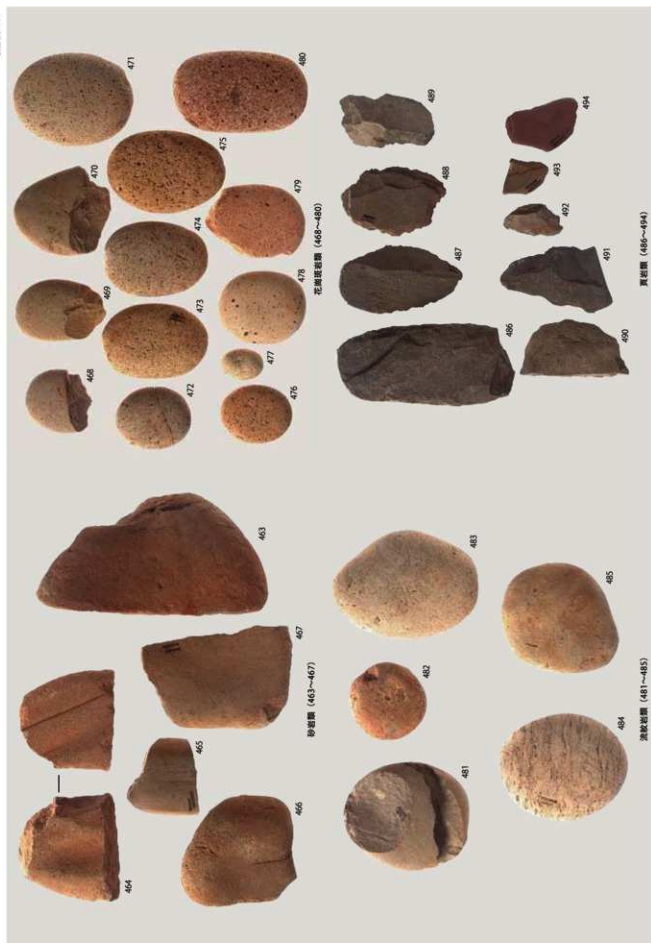
森ノ上遺跡 縄文時代早期石器 (2)



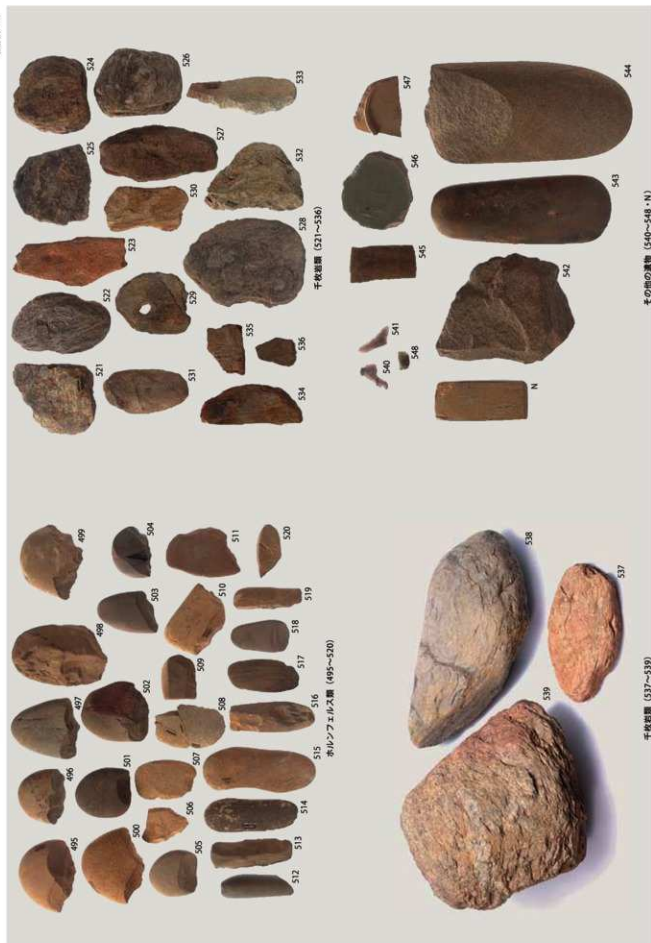
森ノ上遺跡 縄文時代早期石器 (3)



森ノ上遺跡 縄文時代早期石器 (4)



森ノ上遺跡 縄文時代早期石器 (5)



千枚器類 (537~539)

森ノ上遺跡 縄文時代早期石器 (6)・その他遺物

その他の遺物 (540~548・N)



1 オオムギ果実



2 同左
1.0 mm



3 オオムギ果実



4 同左
1.0 mm



5 オヒシバ果実
0.5 mm



6 カヤツリグサ科果実
0.5 mm



7 マメ科果実



8 同左
0.5 mm

野地久保畠遺跡の種実

報告書抄録

ふりがな	のじくばたいせき もりのうえいせき						
書名	野地久保島遺跡 森ノ上遺跡						
副書名	東九州自動車道(県境～北川間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2						
シリーズ名	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書						
シリーズ番号	第196集						
編著者名	黒木誠司・山田高大・飯田博之・柳田晴子・藤木 聡・古田 陽(下線は編著者)						
発行機関	宮崎県埋蔵文化財センター						
所在地	〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下郡河4019番地 TEL.0985-36-1171						
発行年月日	西暦2011年2月25日						
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
のじくばたいせき 野地久保島遺跡	みやざきけんのみやざきしやうたはらまちのうえの 宮崎県延岡市北浦町古江字野地久保島	45203	32° 42' 37" 付近	131° 48' 53" 付近	20081014～20081225, 20090406～20090619	3,600㎡	東九州自動車道(県境～北川間)建設
もりのうえいせき 森ノ上遺跡	みやざきけんのみやざきしやうたはらまちのうえの 宮崎県延岡市北浦町古江字森ノ上		32° 42' 28" 付近	131° 48' 41" 付近	20080825～20090202		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
野地久保島遺跡	集落跡	縄文			剥片/打製石礫/晩期土器		
		縄文～古墳			磁石/磨石/凹石/台石		
		中世	ビット列3		貿易陶磁器(青磁)		
森ノ上遺跡	集落跡	近世以降	掘立柱建物跡5/土坑3/ ビット群		国産陶磁器(備前/備後/肥前/瀬戸/堺等)/火打石/ 釜風器/種子		
		旧石器			ナイフ形石器/スクレイパー/石核		
		縄文時代早期	炉穴4/集石遺構168		深鉢(無文、貝殻文系、押型文系) 打製石礫/磁石/磨石/凹石/礫器/粗製剥片石器		
	その他(縄文晩期以降)	竪穴建物跡1			貿易陶磁器(青磁)/国産陶磁器/火打石		
要 約	野地久保島遺跡は延岡市北浦町古江の中心部よりやや西側に位置し、北・東・西の三方を山に囲まれ南向きに開いた小さな扇状地の緩斜面からなる。縄文晩期・古墳時代の土器・石器、中世の青磁がわずかに出土したがこれに関連する遺構はみられなかった。遺構は中世末から近世における掘立柱建物跡またはビット列が検出された。ビット列から出土した藤摩焼の壺は堂平窯で17℃後半以降に焼かれたと思われる。藤摩焼の出土としては県内で最北である。遺物の大半は18世紀末から19世紀前半を中心とする陶磁器だが、延岡の丸山焼の出土も窯跡や延岡城跡以外での出土としては珍しく、未だ不明な点の多い延岡の地方窯の調査の貴重な資料である。						
	森ノ上遺跡は、三方を山に囲まれ東方向のみ低地に向かって開放する谷間の緩斜面に立地する。調査区は西側高所に位置するA区(2,950㎡)、東側低所に位置するB区(2,500㎡)である。B区については「森ノ上遺跡(弥生・古墳時代編)」として、前年度に報告書を刊行している。今回は、A区を中心とした報告書である。調査区一面が多量の散礫に覆われ、そのうち遺物包含層が良好に残存していた1,400㎡の範囲で最終的に168基の集石遺構が検出された。これは、たいへん高密度な遺構分布である。この集石遺構は、宮崎県城の他例とは趣を異にするものであり、千枚岩の扁平礫を土坑壁面に並べ、一見すると花びらが広がったように配置している。また、その内側には焼けた砂岩の割石が充填されている。出土土器は、厚手で無文の深鉢を中心に貝殻文系、押型文系、燃赤文系のものがある。石器には打製石礫、尖頭器等の狩猟具や、石斧、磁石、磨石、台石等の加工具・調理具等がある。特異なものとしては異形石礫・石針・編刺のある礫等があり、一般的な遺跡よりも豊かな遺物構成となっている。今回の調査により、これまでに発見されている北浦町最古の遺跡となった。						

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第196集

**野地久保畠遺跡
森ノ上遺跡**

東九州自動車道（県境～北川間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 2

2011年2月25日

発行 宮崎県埋蔵文化財センター
〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019番地
TEL 0985(36)1711 FAX 0985(72)0660

印刷 田中印刷株式会社
〒880-0022 宮崎市大橋3丁目110
TEL 0985(28)4724 FAX 0985(20)9285
